

番号	業務名	対象設備	保守点検回数及び点検内容	摘要
1	泉中央駅前駐車場管制設備等保守点検業務	駐車場管制装置	年3回(4ヶ月に1回)	(1) 本保守点検業務は原則として、駐車場運営の人員配置時間中に行うものとする。 (2) 次の事項は保守の範囲に含まない。 ア 機械のオーバーホール, 又は移動, 改造等に要する作業 イ 天災, 火災等の原因による故障の修理 ウ メーカーの指定する使用条件以外の使用で発生した故障の修理
2	泉中央駅前駐車場消防用設備保守点検業務	泉中央駅前駐車場消防用設備保守点検業務 (1) 連結送水管 (2) 泡消火設備 (3) 粉末消火設備 (4) 自動火災報知設備 (5) 非常放送設備 (6) 防排煙設備 (7) 誘導灯 (8) 消火器 (9) 非常電源設備 (10) 総合操作盤	(1) 消防用設備の外観及び機能点検 2月 (2) 消防用設備の外観, 機能及び総合点検 8月	消防法第17条の3の3の規定に基づき, 消防法設備等の種類及び点検内容に応じて各種点検, 試験及び整備を行う。 (1) 指定管理者は定期点検時に清掃その他の軽易な調整を行うものとし, またその作業に使用する材料は, 原則として指定管理者の負担とする。 (2) 点検業務に従事する者は, 消防設備士免状の交付を受けている者または総務大臣が認める資格を有する者でなければならない。
3	泉中央駅前駐車場エレベーター保守点検業務(フルメンテナンス)	日本オーチス・エレベータ(株)製乗用エレベーター 2台 機械番号: 第56NJ0099～0100号	(1) 指定管理者は, 毎月2回技術者を派遣し, 昇降機を正常かつ良好な運転状態に保つよう保守を実施する。 (2) 適用点検及び保守表は, 建築保全業務共通仕様書(財建築保全センター発行)表7.2.6による。 (3) 指定管理者は年1回昇降機の検査を行うものとし, その検査受験法定諸事項に要する費用は, 指定管理者の負担とする。	修理又は部品の取替範囲 指定管理者の判断により必要と認めた場合は, 昇降機各部について構成部品の修理又は取替えを行うものとする。ただしその範囲は昇降機を通常使用する場合に生ずる磨耗及び劣化に限るものとする。
4	泉中央駅前駐車場照明制御盤保守点検業務	パナソニックESエンジニアリング(株)製 (1) 照明監視盤 (2) R-Ry端末器 (3) EEスイッチインターフェイス	年2回(6ヶ月に1回) ア 外観点検 イ 確認点検 ウ 機能点検 エ 電圧測定	(1) 照明監視盤 ア 外観点検 (ア) 損傷の有無 (イ) 清掃点検 イ 確認点検 (ア) 端子・接続部の増し締め (イ) コネクタ部の目視点検・清掃 (ウ) 半田付部の異常確認 ウ 機能点検 (ア) 各種プログラム状態確認 (イ) 各種プログラム作成機能確認 (ウ) 各種遠方操作, 個別操作確認 (エ) トラブル表示機能確認 エ 電圧測定 (ア) 入力電圧の測定 (イ) 出力電圧の測定 (ウ) バッテリー電圧の測定 (エ) 伝送CPU電圧測定 (オ) I/Oプリント基板電圧測定 (カ) 変換P板電圧測定 (キ) 信号ライン電圧測定 (2) R-Ry端末器 ア 機能点検 (ア) 遠方操作による連動確認 (イ) 伝送信号の確認 イ 確認点検 (ア) 端子・接続部の増し締め (イ) コネクタ部・半田付部の異常確認 ウ 機能点検 (ア) 動作チェック (3) EEスイッチインターフェイス ア 外観点検 (ア) 損傷の有無 (イ) 清掃点検 イ 機能点検 (ア) EE入力機能 (イ) T/U出力機能 (ウ) 連動反転機能 ウ 電圧測定 (ア) 操作入力電圧 (イ) 信号電圧 (ウ) スイッチングレギュレータ入出電圧

番号	業務名	対象設備	保守点検回数及び点検内容	摘要
5	泉中央駅前駐車場電動シャッター保守点検業務	三和シャッター工業㈱製 (1) 重量電動シャッター(センサー付) (2) 重量電動シャッター (3) 軽量電動シャッター	年1回	次の各部の保守点検及び調整 (1) 外観 (2) 機能 (3) 作動状況
6	泉中央駅前駐車場自動ドア保守点検業務	ナブテスコ㈱製 (1) 引分自動ドア VS-85 2台 フルテック㈱製 (2) 片引自動ドア 100KLCM 1台 (3) 身障者トイレ片引自動ドア 70KLCM 1台 (4) 付属機器	年4回(3か月に1回)	次の各部の保守点検及び調整 (1) 駆動装置 (2) 扉懸架部 (3) 電気 (4) 検出装置
7	泉中央駅前駐車場自家用電気工作物保安管理業務	キュービクル(325kVA)	月次点検(法令に定める頻度) 年次点検(主として施設の運転を停止して行う点検1年1回) 臨時点検(必要の都度) 巡視点検, 測定及び試験の結果, 経済産業省令に定める技術基準の規定に適合しない事項があるとき, 必要な指導や助言を行う。	(1)電気工作物の事故発生の場合は, 応急措置等を指導するとともに, 事故原因の究明に協力し, 再発防止につきたるべき措置の指導や助言を行う。 必要に応じて臨時点検を行い, 電気事業法第106条の規定に基づく電気関係報告規則に定める電気事故報告書の作成及び手続きの指導を行う。 (2)電気事業法令に規定する立ち入り検査の立会いを行う。 (3)低圧電路の絶縁状態の24時間監視及び異常発生時の対応を行う。
8	泉中央駅前駐車場防火設備定期検査業務	三和シャッター工業㈱製 (1) 防火シャッター (2) 防火ダンパー (3) 防火戸	年1回	次の各部の検査 (1)外観 (2)機能 (3)作動状況 ※防火設備検査員の資格を有する者でなければならない。